

令和5年度重点項目評価表(令和4年度実績)

氏名: _____

		4年度			5年度		
事業項目	事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
1	全ての審議会等における男女それぞれの構成比率を40%以上に促進	市の政策・方針・決定の場において、女性の参画を推進するため、全ての審議会等において、委員の男女それぞれの構成比率40%以上を目指します。	2	令和3年度実績より女性委員の割合は増加したものの、目標値である40%は達成できていないため。	委員の女性比率を区分別にみると、公募市民では約7割であるのに対し、団体等代表では約4割、学識経験者では約3割であった。 昨年度は、団体等代表者の女性比率は約3割、学識経験者は約2割であったことから女性比率が増加している一方で、規則等で委員の職業が決まっている「当て職」や指定の団体に選出依頼を行う場合について、そもそも依頼先に女性がい少ない・少ないことにより、女性比率4割以上となっていない。 各団体等における管理的立場等としての女性の活躍が進んでいくことが、本取組の目標達成に寄与するものと考えられることから、引き続き、これらの取組を一体のものとして進めていく必要がある。	女性委員の積極的な登用を図るべく、引き続き職員への周知徹底を行うとともに、昨年度行われた専門アドバイザーによる支援を踏まえ、目標値達成に向けた具体的な取組について検討を進める。	政策課

【参考】昨年度回答

		3年度			4年度		
事業項目	事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
		委員選任時に、女性委員が40%以上となるよう主管課へ呼びかけ、40%未満となっている機関については、登用が難しい理由等を確認し、是正を促した。(女性委員の割合(全体):33.77%)	2	令和2年度実績より女性委員の割合は増加したものの、目標値である40%は達成できていないため。	委員の女性比率を区分別にみると、公募市民では6割以上であるのに対し、団体等代表では3割、学識経験者では2割であった。 このことから、規則等で委員の職業が決まっている「当て職」や指定の団体に選出依頼を行う場合について、そもそも依頼先に女性がい少ない・少ないことが、附属機関等の女性割合が増加していない理由の一部と考えられる。 各団体等における管理的立場等としての女性の活躍が進んでいくことが、本取組の目標達成に寄与するものと考えられることから、引き続き、これらの取組を一体のものとして進めていく必要がある。	女性委員の積極的な登用を図るべく、引き続き職員への周知徹底を行うとともに、今年度は、新たに専門アドバイザーによる支援を予定しているため、目標値達成に向けた具体的な取組について、当該支援のもと、検討を進める。	

第三者 評価欄(A~E)	判定理由及び改善策等の提言
--------------	---------------

【第三者評価 基準】

- A...施策は非常に良好に進展している (事業概要・目標・計画以上に施策を実施している)
- B...施策は、良好に進展している (事業概要・目標・計画どおり施策を実施している)
- C...現状維持 (一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している)
- D...施策がやや後退している (一部事業概要・目標・計画どおり実施していない)
- E...後退している (事業概要・目標・計画どおり実施していない)

令和5年度重点項目評価表(令和4年度実績)

氏名: _____

事業項目		事業概要	4年度			5年度	担当課
			取組と実績	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	
17	事業所に対する女性活躍促進の積極的な働きかけ	事業所における男性中心の固定化した価値観や仕事のやり方を見直し、女性が活躍できるような職場の意識改革を促進するため、関係機関と連携し積極的な働きかけを行います。また、取組内容を事業所に周知し、働きやすい職場環境づくりを進めます。	府中市勤労者福祉振興公社と協働（公社はひばりで周知）で、健康経営の周知のため、経営者向け、従業員向けの健康維持増進セミナーを1回（2回予定であったが、1回はコロナの影響により中止。）実施し、15人の参加があった。	パンフレットの配布によりセミナー等の周知を行ったため。	特記事項なし。	令和5年度に多様性社会推進課及び商工会議所と連携し、男女共同参画に関する意識啓発セミナーを実施する予定。	産業振興課

【参考】昨年度回答

取組と実績		3年度		4年度		担当課
		取組と実績	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	
地域活性化包括連携協定に基づき、協定事業者（あいおい）及び府中市勤労者福祉振興公社と協働（公社はひばりで周知）で、健康経営の周知のため、経営者向け、従業員向けのメンタルヘルスに関するオンラインセミナーを実施した。			パンフレットの配布によりセミナー等の周知を行ったほか、オンラインセミナーを実施し、働きかけを行ったため。	中小企業においては、職場環境の改善のためのコスト、ノウハウがないこと等が課題となっており、課題の解決に向けたセミナー等について、引き続きの働きかけが必要と考える。	国や東京都の作成するパンフレットを配布し、周知を行う。府中市勤労者福祉振興公社に対し、職場環境づくりを含めた福利厚生について情報提供を行い、セミナー等の開催を促す。	

第三者 評価欄(A～E)	判定理由及び改善策等の提言
--------------	---------------

【第三者評価 基準】

- A...施策は非常に良好に進展している（事業概要・目標・計画以上に施策を実施している）
- B...施策は、良好に進展している（事業概要・目標・計画どおり施策を実施している）
- C...現状維持（一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している）
- D...施策がやや後退している（一部事業概要・目標・計画どおり実施していない）
- E...後退している（事業概要・目標・計画どおり実施していない）

令和5年度重点項目評価表(令和4年度実績)

氏名:

		4年度			5年度		
事業項目	事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
18	女性職員の参画意識の向上	女性職員の昇任試験受験を推奨し、市政への積極的な参画を促します。	3	課長補佐級職については、令和2年度及び令和3年度に実施した昇任試験において女性職員の合格者が出ていなかったが、昇任選考に変更後は、結果として8人の合格者が出ており、係長級職についても14人の女性職員が合格したことから一定の成果が表れているため。	課長補佐級職及び係長級職において、令和4年度より昇任方法を競争試験から選考に変更したことから、安心して昇任することができるようフォロー体制を引き続き整備する必要がある。	令和3年3月に女性活躍推進法に基づく第2次特定事業主行動計画を策定し、「令和7年4月1日時点で管理的地位にある職員に占める女性割合を22%以上にする」と目標を掲げていることから、引き続き女性職員を対象とした研修実施による昇任意識の向上等を図る。また、昇任へのフォロー体制の一つとして、庁内の相談体制について検討する。	職員課

【参考】昨年度回答

		3年度			4年度		
事業項目	事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
		女性の昇任意識向上等の意識改革や職務への意欲推進を目的とした研修のほか、女性職員が活躍しやすい職場づくりを目的とした研修を行ったうえで、昇任試験を実施した。 【令和3年度実績】 昇任試験 ・女性職員の昇任試験受験率(対資格者) (1)課長補佐級(管理職) 0%(前年度0%) (2)係長級(監督職) 5.8%(前年度9.2%) ・女性職員の最終合格者 (1)課長補佐級(管理職) 0人(前年度0人) (2)係長級(監督職) 5人(前年度6人) 研修 ア 女性職員研修(外部講師及び内部講師による講話) 実施回数 1回/対象者 入庁4年以上の女性職員/参加者 10人 イ 女性活躍推進研修 実施回数 1回/対象者 管理職/参加者 36人(男性29人 女性7人) ウ ダイバーシティ研修 実施回数 1回/対象者 全職員/参加者 34人(男性22人 女性12人)	2	昇任試験受験の奨励の効果が係長級では一定程度見られるものの、課長補佐級の受験者が昨年度に引き続き0人となっており、管理職における効果が出ていないため。	意識啓発の研修等を実施するも近年昇任試験の受験率が伸び悩んでおり、成果を出すのが難しい状況である。課長補佐級職及び係長級職において、今年度より昇任方法を競争試験から選考に変更することから、安心して昇任することができるようフォロー体制を整える必要がある。	令和3年3月に女性活躍推進法に基づく第2次特定事業主行動計画を策定し、「令和7年4月1日時点で管理的地位にある職員に占める女性割合を22%以上にする」と目標を掲げていることから、引き続き女性職員を対象とした研修実施による昇任意識の向上等を図る。また、昇任へのフォロー体制の一つとして、庁内の相談体制について検討する。	

第三者 評価欄(A-E)	判定理由及び改善策等の提言
--------------	---------------

【第三者評価 基準】

- A...施策は非常に良好に進展している (事業概要・目標・計画以上に施策を実施している)
- B...施策は、良好に進展している (事業概要・目標・計画どおり施策を実施している)
- C...現状維持 (一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している)
- D...施策がやや後退している (一部事業概要・目標・計画どおり実施していない)
- E...後退している (事業概要・目標・計画どおり実施していない)

令和5年度重点項目評価表(令和4年度実績)

氏名: _____

		4年度			5年度		
事業項目	事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
22	男女共同参画センター「フューチャール」の運営	<p>男女共同参画を推進する拠点施設である男女共同参画センター「フューチャール」を運営し、学習・交流の機会と場を提供します。また、利用率を増やすため施設の周知を図ります。</p> <p>センター来館者数 R4 35,412人(男性 11,158人) R3 26,163人(男性 8,733人) R2 18,872人(男性 6,770人)</p> <p>センター登録団体数 R4 94団体 R3 108団体 R2 113団体</p> <p>センター施設利用率(年間) R4 34.0% R3 26.6% R2 21.0%</p> <p>蔵書数 R4 7,973冊 R3 7,942冊 R2 7,974冊</p>	3	<p>評価の内容</p> <p>昨年度との比較して、実績として来館者数や稼働率が増加しているため。</p>	<p>取組に対する今後の課題</p> <p>・来館者数は新型コロナウイルス感染拡大前の約8割ほどまで回復しており、また、男性の利用者の割合については、新型コロナウイルス感染拡大前の令和元年度では26.0%であったが、令和4年度は31.6%と増加傾向にあり、引き続き、性別にかかわらず、利用しやすい施設の運営に努める必要がある。</p> <p>・既存の資料・蔵書について、劣化や破損、時代に合わない内容のものがないかなど見直しを行い、必要に応じて除籍する必要がある。</p>	<p>計画及び目標</p> <p>・性別にかかわらず、利用しやすい施設の運営に努める。</p> <p>・その他、既存資料・蔵書の見直し、新規資料・書籍の収集を行う。</p> <p>・府中市のSNSツール等を活用し、施設に関する情報を発信する。</p>	多様性社会推進課

【参考】昨年度回答

		3年度			4年度		
事業項目	事業概要	取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題	計画及び目標	担当課
		<p>継続して登録団体活動支援、講座の実施等を行い、来館者数増に努めた。また、情報資料室では、市民が学習や啓発に役立てるよう書籍や資料などの蔵書の充実に努めた。</p> <p>・センター来館者数 R3 26,163人(男性 8,733人) R2 18,872人(男性 6,770人) R1 43,834人(男性11,413人)</p> <p>・センター登録団体数 R3 108団体 R2 113団体 R1 112団体</p> <p>・センター施設利用率(年間) R3 26.6% R2 21.0% R1 30.8%</p> <p>・蔵書数 R3...7,942冊、R2...7,974冊、R1...8,057冊</p>	3	<p>評価の内容</p> <p>昨年度との比較して、実績として来館者数や稼働率が増加しているため。</p>	<p>取組に対する今後の課題</p> <p>・男性の利用者の割合が33.4%となり、昨年度(35.8%)から低下していること。</p> <p>・施設の稼働率が少ないこと。</p> <p>・既存の資料・蔵書について、劣化・破損しているものや、時代に合わない内容のものがないかなど見直しを行い、必要に応じて除籍する必要がある。</p>	<p>計画及び目標</p> <p>・感染予防対策を徹底した上で来館者を増加につながる運営をおこなっていく。</p> <p>・その他、既存資料・蔵書の見直し、新規資料・書籍の収集を行う。</p>	

第三者 評価欄(A - E)	判定理由及び改善策等の提言

【第三者評価 基準】

- A...施策は非常に良好に進展している (事業概要・目標・計画以上に施策を実施している)
- B...施策は、良好に進展している (事業概要・目標・計画どおり施策を実施している)
- C...現状維持 (一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している)
- D...施策がやや後退している (一部事業概要・目標・計画どおり実施していない)
- E...後退している (事業概要・目標・計画どおり実施していない)

令和5年度重点項目評価表(令和4年度実績)

氏名: _____

事業項目		事業概要	4年度			5年度	担当課	
			取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題		計画及び目標
64	性的マイノリティに関する理解の促進	性的マイノリティに対する偏見や差別の解消等を目指すため、意識啓発を実施します。	多摩地域9市で連携し、教員や児童を対象とした性的マイノリティに関する研修を実施した。ただし、本市での実施はできていない。	2	本市では研修の実績がないため。	教育委員会等に対して研修の周知を行う必要がある。	校長会や市内小中学校への訪問を通して周知を行い、研修の実施に繋げる。	多様性社会推進課

【参考】昨年度回答

		3年度			4年度	担当課	
		取組と実績	担当課評価	評価の内容	取組に対する今後の課題		計画及び目標
		パートナーシップ宣言制度を導入している近隣自治体との情報交換会を行い、性的マイノリティへの意識啓発等の連携事業について協議した。	3	次年度の連携事業に向けた具体的な検討を行うことができたため。	関係自治体と連携して、当事者が参加しやすい事業実施、広報の展開を図る。	庁内や学校において、性的マイノリティへの理解を促進するための研修等を行う。	

第三者 評価欄(A～E)	判定理由及び改善策等の提言

【第三者評価 基準】

- A...施策は非常に良好に進展している (事業概要・目標・計画以上に施策を実施している)
- B...施策は、良好に進展している (事業概要・目標・計画どおり施策を実施している)
- C...現状維持 (一部事業概要・目標・計画どおり実施していないが、達成に向け努力している)
- D...施策がやや後退している (一部事業概要・目標・計画どおり実施していない)
- E...後退している (事業概要・目標・計画どおり実施していない)